

# 座間市下水道事業の第2回官民連携事業導入検討に関する 説明会後のアンケート 結果概要

## 1 調査概要

座間市では、下水道事業をとりまく経営状況や執行体制が厳しさを増す状況を踏まえ、今後の下水道事業の持続可能性を高めるため、地元企業を含めた民間企業のノウハウや特長を活かした官民連携方式の検討を進めています。

検討にあたり、本市の事業に関心のある民間事業者向けの説明会を、令和7年7月に続き、令和8年3月3日に開催し、併せて、民間企業の皆さまの参入意向や事業内容、市に期待する支援内容等に対する考えを把握するため、「座間市下水道事業の第2回官民連携事業導入検討に関する説明会後のアンケート」を実施しました。

### 1) 調査実施期間

令和8年3月3日（火）～令和8年3月13日（金）

### 2) 回答方法

電子メールによる記入シート送付

### 3) 調査項目

番号	内容
1	説明会の内容について
2	官民連携事業（ウォーターPPP）に参入への意欲
3	ウォーターPPP 対象業務範囲について
4	その他意見、質問事項

## 2 回答者情報

回答者数
8社（市内企業2社、市外企業5社）
業種（複数回答あり）
維持・管理業務（点検・調査含む）：3社 住民対応等業務：1社 事務・窓口業務：1社 計画・管理業務（コンサルタント）：2社 災害対応業務：2社 改築・更新業務（建設・工事）：4社 その他（修繕工事 人孔・管渠内面補修：1社、その他業務：1社、メーカー：1社）

### 3 アンケート回答の概要

#### 質問1 説明会の内容について

- 理解できた ..... 7社
- 理解できなかった ..... 0社
- どちらともいえない ..... 0社

#### 【御意見】

- ・今後も説明会をして頂きたい。

#### 質問2—1 官民連携事業（ウォーターPPP）の参入への意欲

- 意欲がある ..... 4社
- 意欲がない ..... 0社
- どちらともいえない ..... 3社

#### 【御意見】

##### ■ 「意欲がある」の意見

- ・上水道も今後踏まえた将来性のある事業として意欲がある。
- ・主にコンサルタント業務において本事業に寄与できると考えている。
- ・原則として、地元企業と共同歩調で進めていきたい。

##### ■ 「どちらともいえない」の意見

- ・業務範囲が限定されるため、参画には十分な検討が必要と判断する。協力会社の位置付けも踏まえて検討していく予定です。
- ・当初は更新支援型で共同企業体と基本契約、支援型業務契約を締結し、改築工事においては、共同企業体と随意契約を行い、その後市内企業に工事を委託するイメージですか？

## 質問2—2 座間市が想定している W-PPP の事業スキームについて

### 【御意見】

- ・今後の座間市の上下水道管理を考えると、W-PPP は必ず実施する方向性が大いにあると思う。
- ・事業スキームについては、理解できた。更新支援型から更新実施型へ移行する可能性もあるのでしょうか？
- ・実質的には、更新実施型の事業スキームと想定できますが、更新支援型として業者選定を行う必要があるのでしょうか？
- ・当社の役割が大きい更新実施型に関心があるが、貴市の検討されている事業スキームでも参画検討は可能である。
- ・更新支援型をベースとして一部工事を別契約で発注、初期は仕様発注からスタートということで、良い案だと思う。
- ・CM 業務については、現状の御市の意向の通り、含めないで欲しい。
- ・更新支援型の改築工事について CM 方式を採用する場合、JV 内メンバーは一般的に改築の受託者として選定できないと記載がある。改築に関しては、管更生等が多くなると予測され、既存施設を活用した工事となるため、そこまで高度の知識は不要と考えている。
- ・スキームとしては非常に良いと感じるが、代表企業は市内業者（団体）にすべきである。
- ・調査・点検・計画を履行できる業者が構成員に入れば、市内業者が代表企業であっても何ら問題なく事業を履行できると感じる。

## 質問3—1 ウォーターPPPについて参画する場合に想定している体制について(複数回答あり)

- 単独で参入 ..... 0 社
- 共同企業体等のグループの代表者として参入 ..... 3 社
- 共同企業体等のグループの構成員として参入 ..... 3 社
- 共同企業体等のグループの下請企業として参入 ..... 0 社
- その他 ..... 0 社
- 現時点では不明である ..... 3 社

### 【御意見】

- ・地元企業として W-PPP 参画し、SDGs に貢献したい。
- ・業務範囲が限定されるため、参画には十分な検討が必要と判断する。
- ・協力会社の位置付けも踏まえて検討していく予定。
- ・他分野での PPP・PFI の実績は多数有しているが、下水道分野においては、全く実績がない。よって、コンソーシアム（共同企業体）等の組成状況により、役割を検討していきたいと考えている。
- ・当社の担当を想定する業務は本事業の一部であるため、構成企業としての参画を検討している。
- ・地元企業と協業を検討しながら、代表企業もしくは構成員としての参入どちらでも柔軟に対応していきたいと考えている。
- ・他市でのウォーターPPP に参入している事業者を構成員につけることで解決可能な課題である。市内業者の育成のためにも市内業者（団体）が本事業のイニシアティブを握るべき。

### 質問3—2 W-PPP 対象業務における業務範囲について

#### 【住民対応業務（電話通報受付、工事立合）】

- 含めてほしい ..... 3社
- 含めないでほしい ..... 2社
- 回答選択なし ..... 2社

#### 【実施・対応方針、理由】

##### ■ 「含めて欲しい」意見

- ・対応：電話等通報受付は SNS を有効活用し、対応順番、内容により優先順位を決め速やかに安全に工事立合対応に努め、事案報告を共有します。
- ・工事立合については設計にその金額を含んでいただければ可能と思われるが年間の立合頻度はある程度想定されているのでしょうか。
- ・弊社は、既存のコールセンター等を有している。他分野での不具合対応等、コールセンターを通じて対応している。また、工事立合いにおいても、内容によるものと考えおります。最終的には、含める方向で進めることが、ウォーターPPP の趣旨としてあっているのではないか？
- ・ここまで実施しないと「民」に事業を委託する意味がない。必要な手続きを踏んだうえで建設業協会が主体となって、代表企業となり、調査・点検・計画を履行できる構成員を見つけていることが最善と感じた。上記の流れになるように調整を進めていくつもりである。

##### ■ 「含めないでほしい」意見

- ・電話対応は 24 時間対応と仮定した場合、オペレーターを新たに雇用するなどの負担が生じる。
- ・1 次対応は従来通り発注者側で対応していただきたい。
- ・住民からの電話受付からの業務となると、下水道が原因か不明の状態で見地に行くため、対応が出来ない場合がある。まずは役所側で初動対応を行っていただき、その後の住民・緊急対応が望ましい。

### 【事務・窓口業務】

- 含めてほしい ..... 2社
- 含めないでほしい ..... 2社
- 回答選択なし ..... 3社

### 【実施・対応方針、理由】

#### ■ 「含めて欲しい」意見

- ・対応：ワンストップで課題に取り組むためにも事務等業務は、直接対応が効率的と思う。時間外については、外部委託も検討します。
- ・弊社は、既存のコールセンター等を有している。他分野での不具合対応等、コールセンターを通じて対応している。また、工事立合いにおいても、内容によるものと考えおります。最終的には、含める方向で進めることが、ウォーターPPPの趣旨としてあっているのではないか。
- ・ここまで実施しないと「民」に事業を委託する意味がない。

#### ■ 「含めないで欲しい」意見

- ・事務、窓口業務の内容がわからない。
- ・対応するとなれば新たな雇用が必要となる。
- ・行政側の業務となるため対応に困る。仕事の内容が不明。

### 【問題解決業務（不明水対応）】

- 含めてほしい ..... 4社
- 含めないでほしい ..... 1社
- 回答選択なし ..... 2社

### 【実施・対応方針、理由】

#### ■ 「含めて欲しい」意見

- ・対応：上水道に影響が出ないようにしなければならないため。
- ・不明水においては、水位計の設置などで把握できる範囲は対応できるのではないかと考えております。その程度の対応であれば含めても問題ないかと考えている。
- ・当社としては対応可能ですのでどちらでも問題ございません。
- ・自社で実施、他社とのSPC/JV組成で対応可能。市内全域からの不明水が多いエリアに単年度ごとでなく、中長期的に計画をたて、ストマネや耐震路線との重ね合わせを行い、効率的、効果的に対応可能であるからです。性能規定に関しては厳しいです。本管の異常箇所、取付管、最終柵の修繕改築を一つ一つ進める事が重要と考える。
- ・ここまで実施しないと「民」に事業を委託する意味がない。

#### ■ 「含めないで欲しい」意見

- ・問題解決業務（不明水対応）の内容がよくわからない。想定される業務をお示しください。

### 質問 3—3 その他、W-PPP 対象業務について要望事項、懸案事項等

#### 【御 意 見】

- ・請負させて頂いた場合、お互いが初めての事業のため、現状把握が管理する上で重要です。受注したからとはいえ、全てを効率的に把握するには時間も必要です。準備期間を予算として検討してください。
- ・ストックマネジメント計画策定業務／上下水道耐震化計画が対象範囲に入っておりますが、今回は更新支援型を想定されているため、計画へ反映される改築については、座間市様が検討し計画へ反映される認識で良いでしょうか。
- ・施設情報の整備のご提案：ウォーター-PPP などの手法を活用し、マンホール蓋の施設情報および維持管理情報の収集・整備を進めることを提案いたします。

全国下水道管理者別管路台帳情報等の電子化状況（令和 6 年度末）において、貴市の下水道台帳の電子化はされていない（または構築中）と公表されております。電子化の検討状況について教えていただけます。既に取り組みされている内容でしたら申し訳ございません。その上で、対象業務の台帳の管理（追加・修正）の具体的な内容を教えてください。
- ・当社が担当を想定する業務においては特にございません。
- ・説明会資料 P28 想定する業務対象範囲（1）について
  - ①統括管理業務について、見積り依頼、適切な費用の計上等を希望します。
  - ②住民対応業務・事故対応について、市内業者となっているが、現状は市外業者が行っている場合が多いため、「市内業者/市外業者」の想定対応にすることで、市民サービスの向上につながると考えています。
- ・発注者受注者共に担当者が変更になる場合、業務内容や方針に関して引継ぎ不足による業務内容等の進め方の変更が懸念されます。

#### 質問4 W-PPP 説明会や、W-PPP に向けた取組に関して

##### 【御意見】

- ・具体的な予算や、どの程度収入が見込めるのかを知りたい。例えば年間予算や支払い条件等。また、想定される具体的業務内容、毎月どの程度対応としているのか現状把握や現在の対応人数（業務ごとに）。
- ・貴市では供用開始から45年以上が経過していることから管路上に設置されているマンホール蓋（約11,000基）についても耐用年数を超過したものが多く存在していると想定している。マンホール蓋は他の管路施設と比較して標準耐用年数が短く（車道部15年、その他30年）、事故発生のリスクが高い施設となっている。
- ・マンホール蓋の計画的な改築の実施のご提案：建設時と同様の更新量が一時期に集中することを避けるため、また、管渠の耐用年数を迎える前に平準化を意識したマンホール蓋の改築サイクルの短期化を提案する。現状は年間50基程改築されているため約240年サイクルですが、今後はマンホール蓋の老朽化による事故や不具合を防止するために、管渠やマンホール本体の標準耐用年数×1.5倍とした75年サイクル（年間約150基の改築）またはマンホール蓋の標準耐用年数（その他）×2倍とした60年サイクル（年間約185基の改築）を意識した計画的な改築を提案する。
- ・全期間の上限金額や、一年ごとの上限金額の問題があり、施工数量の調整が必要な場合がある。年度間での金額のやりくりや、設計変更等上限30%の適用を可能にしてください。